

中国開放政策とサイクリングスポーツの急成長 に関する歴史的研究 —華南地区を中心として—

スポーツ文化研究領域

5017A050-0 農 家盛

研究背景

中国では、この10年間で、「ツール・ド・フランス」上海大会が開催され、「ツアー・オブ・広西」が国際自転車連盟のワールドツアーとして中国で開催され、「中国自転車リーグ戦」と「中国オープン戦」のようなアマチュアレースが出来たことにより、アマチュア選手とプロ選手と同じ競技場面で競い合うことができるようになった。特に、『2016年野途（会社名）自転車スポーツ業界分析報告書』によると、2016年には中国で年間3400回のサイクリング活動が行われ、サイクリング愛好者は約800万人を数えると報告された。翌年『2017年野途（会社名）自転車スポーツ業界分析報告書』により、2017年サイクリング活動が中国で年間2808回に縮小したが、サイクリング活動の規模が大きくなった。サイクリング愛好者は900万人に増加したと報告された。中国のサイクリングスポーツが確実に急成長していると見られる。

この現象に対して、一連の疑問が出て来た。なぜ急成長しているか、なぜサイクリングスポーツなのかなど出て来たということである。

各先行研究により、1910年代に、中国上海で一度サイクリングレースサイクリングスポーツが鉄道局の社員活動の形で現れたが、後に鉄道局か政府の支えで、サイクリングレースはだんだん職業的、いわゆる「プロレース」になった。二次大戦まで続いたとしても、現代民間活動としてのサイクリングレースと異なっていた。

1984年北京には楊桂林（創始者の名前）親子サイクリングレースが開催されたが、時期からすると、それは「ロサンゼルスオリンピ

研究指導教員：石井 昌幸 教授

ック」と中国「改革開放」政策に近いと判断できる。

梁海燕（2016）『広州市アウトドア自転車スポーツ発展の窮地と出口』では、広州市のサイクリングレースが1980年代から現れたと述べられており、サイクリングスポーツと開放政策との関わりが強かったのではないかと。

また『2017年野途（会社名）自転車スポーツ業界分析報告書』に戻ると、現代サイクリングレースがほとんど広東省に集中することに注目できる、開放政策が広東省から実施されたことも加わって、開放政策とサイクリングスポーツとの関係が本文の研究対象になった。

研究目的

本研究の目的は、中国開放政策とサイクリングスポーツの関係を明らかにすることで、まずは開放政策とスポーツ文化との相互作用を見つけ、サイクリングスポーツの成長に影響を与える要因を発見し、またスポーツと経済発展との関係を研究することである。

研究方法

研究方法としては、基本的に、中国サイクリングスポーツと中国の各方面の事件を関連付けることである。その上で、各方面の事件を分野によって整理して、時間軸に沿って並べ、点としてお互いに線に繋ぐように関連付け、最終的に「面」のような全体像を求める。

具体的に、章分けとして、最初第Ⅰ章に中国スポーツの近代化を概説する、時代区分としては古代から改革開放政策頃まで述べる。

第Ⅱ章中国のスポーツ政策では、中国政府の公式サイトでの資料を使う。個人的な要因と政策の要因も分けられるが、なぜ個人的な要因とすると、『自転車スポーツ産業発展計画』は沈金康さんが中国自転車スポーツ協会の会長になってから発表され、しかも沈金康さんが香港代表チームとして、ずっと自転車スポーツの発展に注目し、彼が『自転車スポーツ産業発展計画』に対して推進は想定される。

政策の要因では、主に『全民健身計画』、及び中国の経済発展計画に沿う『体育事業「十一五」計画』、『体育事業「十二五」計画』、『体育発展「十三五」計画』に注目したが、「十二五」と「十三五」の計画時代に、

『体育産業発展「十二五」計画』『体育産業発展「十三五」計画』も同時に発表された。これによって、中国政府がスポーツに対する態度の変わりによって、中国政府がスポーツの体力向上からスポーツ産業がもたらす利益に重要視する経緯を示し、サイクリングスポーツの関連する産業が政府のサポートをもらって、政策の対象となる因果関係を示す。

第Ⅲ章で『広州市地方誌』『深圳商報』などの地方文献資料を使う。広州自転車産業の成長、衰退、分散することにより、深圳の合資自転車企業の成長、また後に台湾自転車企業の中国に移転、三つの所の自転車産業の視角で、深圳での自転車産業がどのように開放政策の恵みで成長し、サイクリングスポーツの物質的な前提となったかを示す。

第Ⅳ章で三つの部分に構成されている。一つ目は開放政策から中国大陆（香港、マカオ以外）で開催されたサイクリングレースの比較である。二つ目はアスリート体制の紹介と変化である。三つ目は中国サイクリングレース制度の紹介と改革である。主にインターネット資料とインタビューで資料を集める。まずは具体的なサイクリングレースの比較に

よって、サイクリングレースが何の原因で中国に成長し続けられるかを究明し、そしてアスリート体制の紹介と変化を述べることで、中国政府が専門的なサイクリストへの関心を示し、最後にサイクリングレース制度の紹介と改革で、中国政府と社会団体もサイクリングスポーツへの関心を示す。三者を合わせて、それぞれ要素として、サイクリングスポーツの成長を続けているのを説明したい。

研究結果

結果としては、開放政策がもたらした外来資本がスポーツに通じた拡張と外来自転車企業の移転はただ一部の外因で、より重要なのは、19世紀中甸から西洋スポーツローカル化した香港サイクリングスポーツが開放政策からの拡張、20世紀初頭から中国政府がスポーツに対しての重要視、また開放政策がもたらした国民収入の向上の三つの内因である。それ以外、科学的な管理、アスリート体制の改革、試合制度の改革などほかの具体的な要素もサイクリングスポーツの成長を支えているも明らかにした。

研究結論

結論として、本文の研究からは、西洋スポーツが中国でローカル化する過程、または中国スポーツの近代化過程は、主に三つの方向があったと説明した。

一つは、西洋スポーツがYMCA事務所を設置することで、直接に中国で立地することである。

二つは、まずは植民地（例えば香港）でスポーツをローカル化してから、その植民地自身の地縁関係で、自分から中国大陆で普及することである。

三つ目は、中国政府側から自分自身でスポーツの利点を認識し、スポーツ文化を受け入れ、また自分がスポーツ文化を普及することである。

